

(別紙)「宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)及び第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

※ ご意見ありがとうございます。

・意見の募集期間 令和3年(2021年)6月1日(火)～6月30日(水)

・提出意見件数 11件

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1	にか(宝塚市) 宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)全般			手厚い子育て支援が話題の明石市の政策を参考にしてくださいと嬉しいです。市民にやさしい市となるだけでなく、人口や出生率の回復に繋がり、税収増によって新たな市民サービスを提供できる好循環が期待できます。また、セクシャルマイノリティに寄り添うまちづくりも引き続き取り組んで欲しいです。人権の尊重に重きを置く姿勢は、私が宝塚市に住み続けたい根拠の一つになっています。よろしく願いいたします。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】 第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)において、基本目標2「子どもがいいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり」の中で、出産・子育て支援の充実や、子育てと仕事の両立の支援、学校教育の充実、魅力的な環境の形成を進めることとしています。計画の推進にあたっては、他市の状況等も積極的に情報収集しながら、子育て世代に選ばれるまちづくりを進めていきます。 また、本総合戦略は、地方創生を推進するための取組を定めたものであり、人権については記載していませんが、本市の最上位計画である「第6次宝塚市総合計画」の基本構想において、「すべての人の人権が尊重され、平和の下で、誰もがありのままに自分らしく生きている」ことを「めざすまちの姿」として定めています。この目標のもと、引き続き人権・男女共同参画施策に取り組んでいきます。	いただきましたご意見等について、宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)及び第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)の見直しには至りませんが、計画の推進にあたっては、ご意見の趣旨を十分に踏まえて進めてまいります。
2	宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)全般			宝塚市で高校まで育ち、5年前から再度住みましたが痛感するのは交通の不便さです。特に経済、流通の大動脈である神戸大阪間を結ぶ西宮、尼崎と宝塚を結ぶ南北の交通が極めて悪いようです。阪急今津線もしくは自動車になりますが、南北を結ぶ道路は少なく、細く信号も多いため常に渋滞しています。これでは将来人口が減少したとき、人口を西宮や尼崎にとられ、宝塚は過疎化がすすむとしか思えません。次世代の宝塚市民のために私達が残せるのは南北を結ぶ高速道路の開発です。具体的には中国縦貫道路宝塚インターから阪神高速神戸線、湾岸線へ南北に結ぶ阪神高速武庫川線です。阪神間の道路地図を見ても、この地域のみぼっかり無高速道路地帯となっているのがわかります。騒音が問題となるのなら、淀川左岸線のように地下化も考慮して、今から計画を練っていくべきだと思います。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】 阪神間臨海部と本市を結ぶ幹線道路については、兵庫県において、主要地方道尼崎宝塚線の整備が進められています。 また、高速道路のような都市間を連絡する広域的な幹線道路の整備についても、兵庫県が主体的に取り組むべき事業となりますが、現時点では、兵庫県の事業計画に新たな南北高速道路の整備は含まれていません。 本市では、平成30年度に策定した宝塚市道路網基本構想に基づいて、幹線道路を含めた道路整備に努めていきます。	
3	宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)全般			保育料について 近隣の市よりも、支払う額の上限が高すぎる。 また、高額な保育料を徴収しても、新設の保育園、または現存の保育園の拡大に繋がらないのは何故か。子育て支援もある一定ラインでカットされる為、保育料も合わせて減額して欲しい。	【ご意見ありがとうございます。原案のとおりとします】 令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が始まり、3歳クラスから小学校就学前の児童及び0～2歳クラスの住民税非課税世帯の児童の保育料は無償となりました。この無償化の対象でない児童の保育料については、本市の財政状況や阪神間などの状況も踏まえ、国の徴収基準額よりも低い水準に設定し、保護者の市町村民税所得割額によって決定しています。保育水準を維持していくために、保護者の方にも一定のご負担をお願いしているところです。 保育料は、現在実施している保育に必要な費用に充てられていますので、保育所整備については別途予算を確保し、引き続き待機児童解消を目指して、保育の需要に応じた対策を講じていきます。	—

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
4	宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)全般に関する こと			産科について 市内で分娩ができる産科が少なすぎる。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】 本市では民間の産科医院に加えて、市立伊丹病院との連携により地域の周産期医療を守る取組を行っています。市立病院が市立伊丹病院、大阪大学と産婦人科連携の協定を締結し、市立伊丹病院が分娩を担っています。また、高齢妊娠や合併症妊娠等のリスクの高い出産や低出生体重児に対応できる周産期医療体制の構築を進めています。 全国的な産婦人科医不足により、新たに産婦人科医院を増やすことが困難な状況ですが、周産期医療については、誘致や広域連携など、そのあり方を検討していく必要があると考えています。	いただきましたご意見等について、宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)及び第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)の見直しには至りませんでした。計画の推進にあたっては、ご意見の趣旨を十分に踏まえて進めてまいります。
5				女性について 宝塚市は他の市に比べて女性が働く割合が少ないと聞きますが、働く女性がこの市に住むメリットがないと感じます(預け先がない、保育料が高い、収入によって医療費が実費になる等)。その為、子供を育てながら働くことを選ぶ女性は他の市に流れていっていると思います。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】 第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)具体的施策2-(1)-①「妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援体制の強化」において、妊産婦や子ども、家庭への切れ目のない支援の実施や、福祉医療費助成制度の適切な運営に取り組むこととしています。 また、具体的施策2-(2)-①「子育てと仕事の両立支援に向けた環境整備」において、保育施設及び放課後児童健全育成事業の待機児童解消に向け取り組むこととしています。こうした取組を通じて、子どもを育てながら働く女性にも選ばれるまちづくりを進めていきたいと考えています。	
6				学校について 学区の見直しが10年以上行われていない。市内にも関わらず片道30分、坂を登り続ける場合があるのは周知されているのか。10年前とは気象も大きく変わっている。柔軟に対応をしてもらいたい。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】 通学区域の設定については、小学校で片道4km以内、中学校で片道6km以内と規定されています。通学する児童生徒の保護者には、入学前に健康診断や入学説明会を開催していますので、自宅から学校までの通学路については、把握していただいています。一方、現在の交通事情や気象状況により、長時間の通学に対しては熱中症等の対策をはじめとする安全対策が必要となり、各学校では、通学状況に応じて、安全対策を講じています。 また、現在、全市的な通学区域の在り方について、教育環境審議会を設置して議論を進めています。今回いただいたご意見は、この審議会でご紹介させていただきます。	
7				インフラについて 阪急電車、阪急バス、阪急タクシーがどの駅も優先されており、自家用車での送迎が想定されていない。住むようになってからその不便さを感じます。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】 阪急電鉄の駅では、一部で交通事業者が所有する駅敷地にバスやタクシーの乗降場を設置している駅があります。また、その他の駅前広場などでは、バス、タクシーなどの公共交通と自家用車での送迎による乗降スペースが分離されていませんが、必要な機能は確保しています。	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
8	宝塚市人口ビジョン			<p>人口減少を食い止めるのは、やはり子育て層に住んでもらうことだと思います。そのためには、まず税制面での優遇があったり、健康保険料が安いなどの金銭面での優遇のほかにも、共働きしやすいといったことも重要だと思います。今後定年後のシニア層が増えていくと思いますが、このシニア層が学童保育や、勉強の手伝いなど、共働き層が就業している時間帯で子どもの成長にプラスになるようなことができる環境整備を進めていってはどうかだと思います。ボランティアでも良いですし、少しでも収入があると、老後の年金生活者の安心にもつながり、シニア層の消費も増えて良いのではないかと思います。</p>	<p>【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】 第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)の具体的施策2-(3)-③「地域の力を活かした学校支援」において、家庭・地域と連携し、子どもの発達を支援する体制の充実に取り組むこととしています。今後、シニア世代の方々のお力も借りながら、社会総がかりで教育に取り組む体制を充実させたいと考えています。</p>	<p>いただきましたご意見等について、宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)及び第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)の見直しには至りませんでした。計画の推進にあたっては、ご意見の趣旨を十分に踏まえて進めてまいります。</p>
9	改訂版(案)全般に関する事			<p>ポイントとなるのは子供も含めた子育て世代がいかに多くいるかになると思います。コロナの影響もあり、テレワークの働き方が定着してくると思われる今後において、大阪や神戸に対して距離があっても子育てがしやすい環境があることは何よりも魅力となるはず。事実、明石市などに引っ越し話も会社などでもよく聞きます。そのためにも、18歳までの医療費や教育費、助成の充実は重要になってくるのではないのでしょうか。その先に子育て世代の転入の増加、成長した子供が故郷で過ごすことでの転出の減少、働き世代が増えることでの会社の誘致や店舗の増加、それに伴う税金の増加と住民へのサービス向上と循環が動いていくと考えます。</p> <p>幸い子育て世代に優しい阪神地区より西に多いと思うので今が絶好の機会ではないのでしょうか？</p>	<p>【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】 宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)においては、ファミリー世代(25歳～39歳)の転入促進と出生率向上により、人口減少の緩和を図ることとしています。そのために、第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)においては、「子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり」を基本目標の一つに定め、具体的施策2-(1)-①「妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援体制の強化」において、乳幼児等・子ども医療費助成制度の充実に努めることとしています。今後、他市の状況等も積極的に情報収集しながら、子育て世代に選ばれるまちづくりを進めていきます。</p>	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
10	第2期夢・未来 たからづか 創生総合戦略(案) 全般に関する こと			<p>宝塚市は「宝塚歌劇」はあるが企業群や大型商業施設も少なく、今や所謂「郊外住宅都市」と位置付けされる。その根拠としては以下の興味深いデータがその証左である。</p> <p>本市の人口は23万3,600人(R3.3住基人口)で県内29市の中で7番目であるが小売・卸販売額は1,831億円(県内12番目)、工業製品出荷額は476億円(県内24番目)と少ない。とりわけ市民一人当りの年間小売商品購入額に至っては64万円と県内29市の中で最下位に位置する。本市の産業構造全体が人口規模に比べて脆弱と言える。</p> <p>昼夜の人口動向は本市は昼間人口が夜間人口比33%減で5万人少なく、伊丹の9%減や西宮の10%減に比べてその差は大きい。データから読取ると「宝塚市民は買い物や仕事などは市外が基本」が日常化しており、これが本市の抱える大きな問題と言える。</p> <p>2019年度の観光客数(入込客数)1,048万人と公表されているが、その内訳は宝塚北サービスエリア等が306万人、清荒神302万人と両施設で6割を占めており、この数字は本来の観光客とは言い難く、観光資源としても十分に生かされているとは思えない。</p> <p>宝塚歌劇団のお陰で本市のブランドイメージは高く、市民もそれを誇りに思っている。</p> <p>しかし、現実には宝塚歌劇団の関連収入および関連グッズ売上は「一企業」に恩恵はあっても地元観光事業や商工業への恩恵は限定的である。旧温泉街はマンション群となり、旧ファミリーランド跡地は商業施設(ニトリ、ユニクロ)やスポーツジムに変貌したことも地域環境や観光商工業が岐路に立たされている要因である。</p> <p>本市の財政上の問題から意見を述べたい。宝塚市の市税収入は個人市民税と固定資産税が中心で359億円(2019年度)と国内(815市区)で116番目の多さであり、市民一人一人の働きのよところが大きい。因みに法人市民税は僅か12億円余であり本市の産業構造が小さいことが窺える。また特徴的なことは納税義務者の平均所得も413万円(国内34番目)と高い水準にある。今まさに本市財政を支えているのは市民ひとりひとりの納税力であり、住民のロイヤリティの高さ、郷土愛の深さを十分に共有すべきである。</p> <p>市民の期待に応えるためにも「持続可能都市」としての施策や方策を具体的に論じて次世代に対して示すことこそ最大のミッションと考える。将来ビジョンに美辞麗句を並べても、迅速で確実に実行できなければ意味がない。具体的な方策と数値を示し確実にPDCAを実行できる体制作りも併せてお願いしたい。</p>	<p>【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】</p> <p>ご指摘いただいたとおり、本市の流動人口の特徴として、宝塚市から他市町への通勤者が多く、他市町から宝塚市への通勤者が少ないなど、いわゆるベッタウンとしての特徴が見られます。社会経済を支える担い手が不足し、豊富な観光資源の活用や起業・創業への支援などが進まない場合は、地域内経済が循環せず、まち全体の活力が低下するおそれがあります。</p> <p>市としても持続可能都市を実現することは重要と考えています。そのためには、まちづくりを行政だけで進めるのではなく、地域や社会に関心を持つ人に地域コミュニティに参加していただくことが必要であり、それにより、地域への愛着が生まれるものと考えています。また、各取り組みの推進にあたっては、将来の見える行財政経営を推進するため、施策がその目的を達成するに至る因果関係を意識しながら、エビデンスに基づく政策立案を迅速に推進した上で、重要目標達成度指標(KGI)や重要業績評価指標(KPI)を設定し、施策の実施状況の検証、改善を図り、次の取組につなげるPDCAサイクルにより進行管理を行っていきます。</p>	<p>いただきましたご意見等について、宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)及び第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)の見直しには至りませんでした。計画の推進にあたっては、ご意見の趣旨を十分に踏まえて進めてまいります。</p>

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
11	第2期夢・未来 たからづか 創生総合戦略(案) 全般に関する事			<p>内容拝読させて頂きました。 私は宝塚が大好きです。 私は小学校の頃、神戸市に住んでいましたが、よく家族で宝塚に遊びにきてました。 宝塚ファミリーランド・宝塚ヘルスセンター・宝塚歌劇と子供にとってはとても魅力的な町でした。 私は大人になったら絶対に宝塚に住もうと思っていました。現在夢かなくて宝塚に住んでいます。 しかし今の宝塚は高層ビルがたちならび、朝・夕は交通渋滞と、まったく魅力がない町になっています。 しかも税金は高い。 もう一度今住んでいる子供達が大人になっても宝塚に住みたいと思う夢のある町にして頂きたい。</p> <p>提案 ○ 現在宝塚に在籍している幼稚園・小学生・中学生・高校生に大人になっても住みたい宝塚との題にて作文を書いてもらってはどうか？意外と大人には気づかないいいアイデアがでてくるかもしれません。 ○ 今回市長の公約で市民の声を大切にすると、市民の声目安箱おいてはどうか 設置場所 市役所・市民病院・阪急・JR宝塚駅など ○ 行事を増やす 例 宝塚歌劇の人との市民対抗運動会・手塚治虫記念ハロウィン仮装コンクール・西谷地区 市長杯羊ほり大会・鯉釣り大会・宝塚名勝めぐりスタンプラリー など ○ 癌検診普及 自治会・マスコミ(J・COM)最大限活用 ○ 宝塚には資源(温泉・他)・文化・歴史と素晴らしいものがあるので、これをミックスして最大限活用すれば きっと今在住の子供達も・それ以外の地区の子供達も宝塚に住みたいと思う町になると思います。 もう一度夢のある宝塚にして頂きたい。 宜しくお願い申し上げます。</p>	<p>【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます】 ○「作文の作成」について 第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略の推進にあたっては、老若男女を問わず様々な方々からの意見を取り入れると共に、積極的な情報発信により周知を図っていきます。</p> <p>○「市民の声目安箱」について 市長の声目安箱については、既に市役所市民相談窓口をはじめ、サービスセンターやサービスステーション、公民館などに設置している市長への提言はがき(専用はがき)をご利用いただいているほか、市ホームページからも提案・要望や苦情などを送信していただくことができます。今後とも、これらの内容について市民の皆さまへの周知に努めていきます。</p> <p>○「行事を増やす」について 行事を増やすことについて、例示も含めてご提案いただき、ありがとうございます。これまでのように花火大会や宝塚まつりのような大規模なお祭りは難しい状況ですが、これまでハロウィンイベントやだんじりパレード、ハンバーガーフェス、歌劇の市民貸切公演など賑わいづくりを目的としたイベントは実施しています。また、スタンプラリーなどは宝塚商工会議所や宝塚市文化財団が飲食店支援や宝塚学検定と絡めて主催するなど継続して取り組まれており、西谷地域では観光農園や釣り堀も営業されています。今後も魅力あるイベント実施に向けて検討を続け、コロナ禍収束など集客性のあるイベントができる状況になった場合は多くの方にお越しいただき、幅広い世代の皆様楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。</p> <p>○がん検診の啓発について 宝塚市では、市・池田泉州銀行・アフラックの三者で宝塚市がん検診受診促進協定を締結し、啓発チラシを作成しており、自治会の協力による全戸配布のほか、小中学生用のチラシについては、小学5年生、中学2年生に配布しています。また、平成30年度にはNHK「ガッテン！」乳がん検診特集を活用した受診勧奨企画に参加し、令和2年度にはNHKの現場取材を受けてがん検診の情報発信を行っています。今後各種団体や機関の協力を得ながら啓発に取り組みます。</p> <p>○資源の活用について 今年度からスタートする「観光振興戦略」では、基本目標に『宝塚ならではの魅力を活用し、「ウェルネス」をキーワードに、市民や国内外の人たちの楽しみや感動、欲び、こころとからだの安らぎを提供する観光振興に取り組み、市民も来宝者も“「こころ」も「からだ」も豊かになるまち”を目指す』ことを掲げています。その実現のために、創造性を持ちながら、ご指摘の温泉や歌劇、植木、信仰、農産物、豊かな自然など、まちの宝である様々な資源を活用し、宝塚の観光を多くの市民や来宝者に向けて魅力を発信していく必要があると考えています。生活に密着した情報を広報する中で、より市民に情報に興味を持っていただくために、また、市民に宝塚のまちを知っていただくために、よいご提案であり、今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>いただきましたご意見等について、宝塚市人口ビジョン 改訂版(案)及び第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略(案)の見直しには至りませんでした。計画の推進にあたっては、ご意見の趣旨を十分に踏まえて進めてまいります。</p>